

北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト

本道においては、次世代半導体製造拠点の立地や洋上風力発電の導入、農業や水産業のスマート化など、産業構造が大きく変化している中、産学連携コーディネーターが産業界と専門高校をつなぎ、先進的な取組を学べる持続可能な連携体制を強化。

専門高校と産業界の連携における課題

- ①連携した取組が少ない
- ②連携の進め方や配慮点が不明
- ③ニーズ等が異なり、連携が進みづらい
- ④教員が多忙なため企業等と調整不足

対応

課題解決の方法

- ①連携ができる企業先を開拓
- ②連携を促進する教員・企業研修を開催
- ③コーディネーターが連携を後押し



参考

静内農業高校の取組

- ◆産業界等と一体となったカリキュラムの刷新・実践
- ◆CEOが企業と学校をコーディネート
- ◆産業実務家教員による技術指導等



ONE-TEAMコミットィの発足

産学連携に係る課題解決に向けた協議、教員・企業向け研修の企画や事業の評価・改善を行う事業運営委員会



※委員会

◆1年目(R6)【発信】

静内農業高校（拠点校）

×

ONE-TEAMコミットィ

拠点校で自走している職業人材育成システムを専門高校へ発信

◆2年目(R7)【横展開】

拠点校を拡大（農工商水※）

×

※各1校

ONE-TEAMコミットィ

持続可能な職業人材育成システムを専門高校へ横展開

ゴールイメージ



専門高校と産業界がサステナブル※につながる

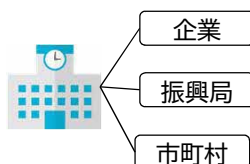
※持続可能な、ずっと続いていく

産学連携コーディネーターの役割

北の専門高校プラットフォームを創設

◆人的ネットワークの構築

職業学科担当の指導主事と連携し、学科の特性に応じて、専門高校と産業界（企業、振興局、市町村等）を、人的につなげる



◆産業実務家教員リストの作成

謝金等が不要で出前授業等が可能な職業人をデータベース化し、専門高校と産業界のつながりを後押し



◆産業構造の変化に対応

先端技術に従事する技術者を紹介したお仕事ガイドブックを制作

- （例）・6次産業 ・観光・デジタル技術 ・半導体関連 ・洋上風力発電 など



管理機関の役割

- ◆ONE-TEAMコミットィを設置し、拠点校を中心として事業を推進
- ◆道内の専門高校に職業人材育成システムの構築を目指す
- ◆産学連携コーディネーターを配置し、職業学科担当の指導主事と共に、産学連携に係る課題解決に向けて学校を支援

拠点校の役割

【1年目（静内農業高校）】

各種ミーティング等を通して連携・協働体制の在り方を発信

【2年目（農工商水：各1校）】

各教科の特性に応じた連携・協働体制を検討し、情報を発信

横展開のイメージ図



- ◆専門高校と産業界が一体となった教育課程の開発
- ◆外部講師による出前授業や先端技術を知る現場見学、長期インターンシップなどを促進
- ◆持続可能な連携基盤（コンソーシアム）づくり

北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト

令和6年度の事業概要

- ◆事業運営委員会「ONE-TEAMコミッティ」を設置し、専門高校のサステナブルな職業人材育成システムの在り方についての協議を行い、キックオフミーティング等を通じて、拠点校（静内農業高校）の取組や成果を広く専門高校に普及・啓発。
- ◆専門高校の人的ネットワークの構築とともに、生徒や教員が新たな産業構造を理解する機会を創出。

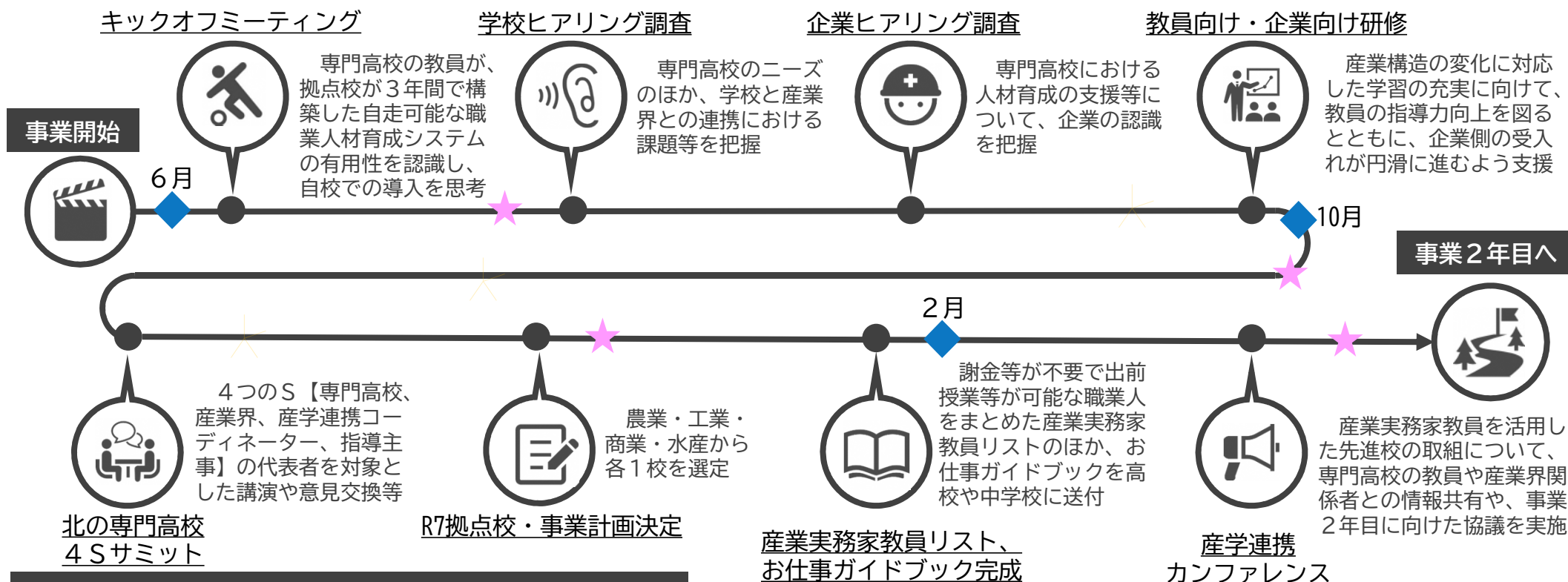


令和6年度の取組とスケジュール

◆：ONE-TEAMコミッティ

★：ONE-TEAMニュース

※産業教育関係者に向けた通信



産業構造の変化に即応したONE-TEAMの主な取組

半導体に関する出前授業

工業高校を中心とした専門高校に、大学等の教員を産業実務家教員として招き、生徒や教員が先端技術を学ぶなど、産業構造の変化に対応。

工業 × 商業 × 農業

どさんこプラザでの販売会

農業高校や商業高校、水産高校等の生徒が企業と連携して開発した商品を、北海道のアンテナショップで販売するなど、6次産業を体験。

農業 × 水産 × 商業

洋上風力発電セミナー等

洋上風力発電に関する職業人を産業実務家教員として招き、生徒や教員を対象としたセミナーや出前授業のほか、バスツアー等を実施。

工業 × 水産

建設DX理解促進セミナー等

DXや働き方改革の取組について、建設業協会の関係者等を産業実務家教員として招き、生徒や教員を対象としたセミナーや意見交換を実施。

工業 × 水産 × 農業